

交換レンズ  
Interchangeable Lens  
Objectif interchangeable  
可更换镜头

取扱説明書  
Operating Instructions  
Mode d'emploi  
Manual de instrucciones  
使用说明书

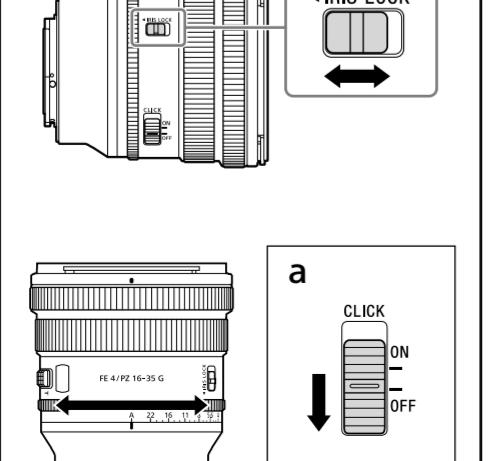
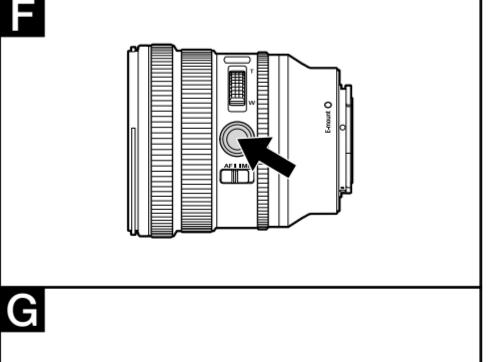
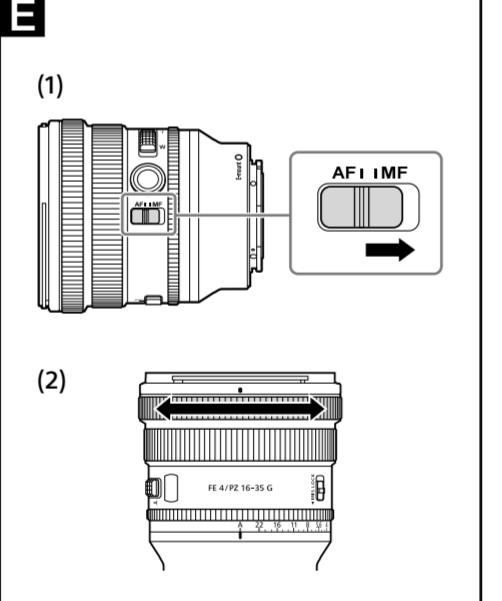
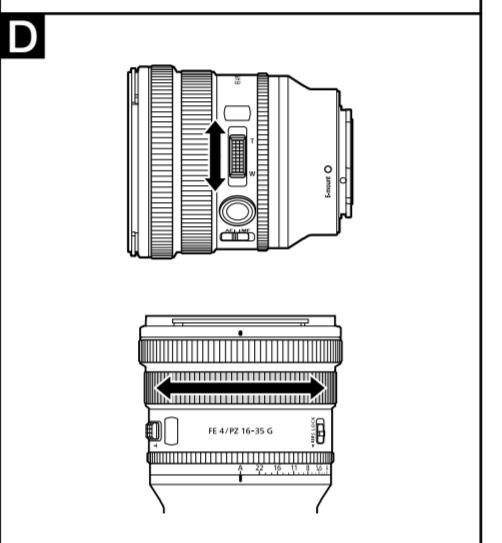
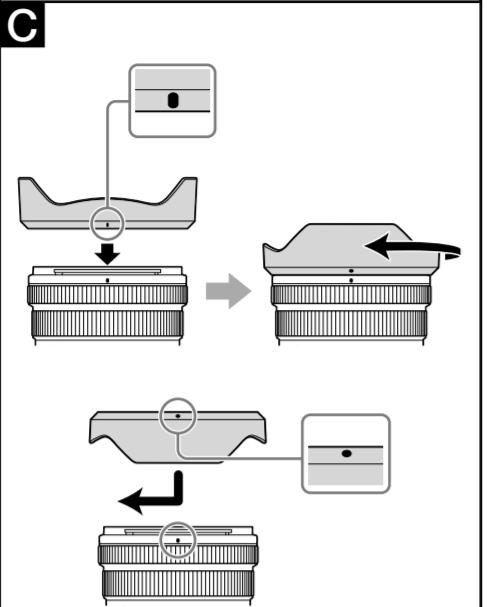
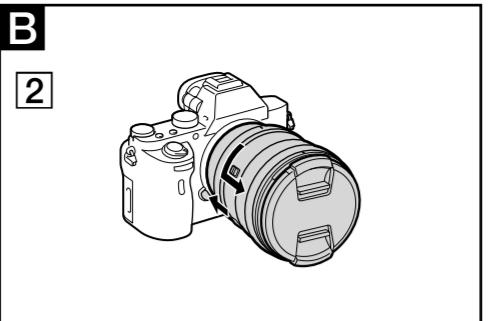
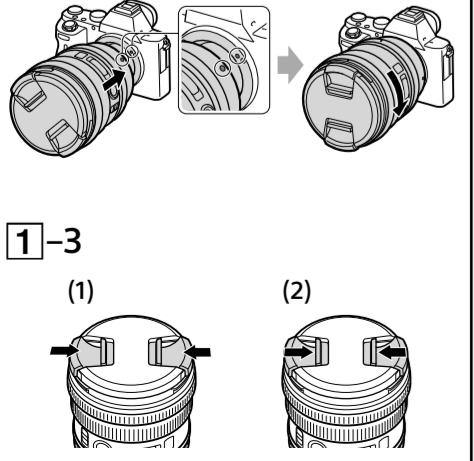
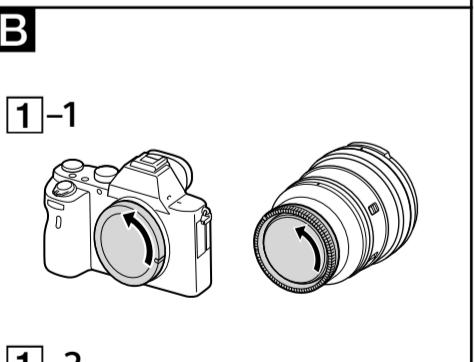
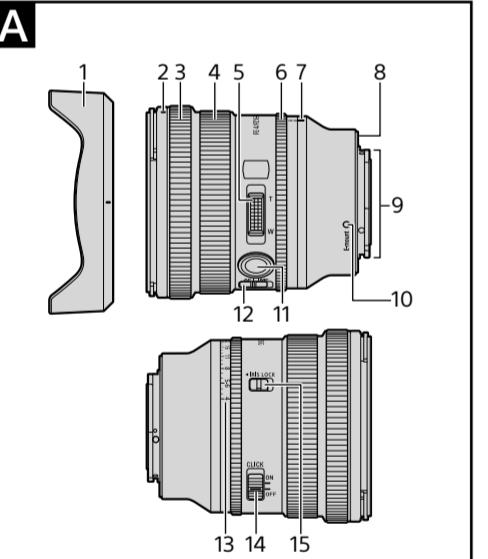
G

FE PZ 16-35mm  
F4 G  
E-mount



5036508010

<https://www.sony.net/>  
©2021 Sony Corporation  
Printed in China



## 日本語

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全に使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

この「取扱説明書」ではレンズの使いかたを説いています。使用上のご注意など、レンズと共に通したご注意や説明については別冊の「使用前のご注意」をご覧ください。

必ずご使用の前に、本書と合わせてよくお読みのうえでご使用ください。

本機はソニー製αマウントカメラ専用のレンズです。Aマウントカメラにはお使いになれません。

35mm判相当の撮像素子範囲に対応しています。35mm判相当の撮像素子搭載機種ではカメラ設定によってAPS-Cサイズでも撮影が可能です。

カメラの設定方法については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

カメラ本体との互換情報については専用サポートサイトでご確認ください。

<https://www.sony.jp/support/ichigan/>

## 使用上のご注意

- レンズを絶対に太陽や強い光源に向けたままにしないでください。レンズの集光作用により、発煙や火災、ボディ・レンズ内部の故障の原因になります。やむを得ず太陽光下等におく場合は、前後レンズキャップを取り付けてください。逆光撮影時は、太陽を画角から充分にずらしてください。

- 本機は防じん、防滴性に配慮して設計されていますが、防水性能は備えていません。雨中使用時などは、水滴がかかるないようにしてください。

- レンズ単体の状態や、カメラ装着時に電源を切った状態で本機を振ると、内部構造が動き、音が発生することがあります。故障ではありません。

- 本機は持ち運ぶ際などの振動で内部のレンズ群が動いても、性能などに影響はありません。

- レンズを取り付けてカメラを持ち運ぶときは、カメラとレンズの両方をしっかり持ってください。

## フラッシュ使用時のご注意

- レンズとフラッシュの組み合わせによっては、レンズがフラッシュ光を妨げ、写真の下部に影ができることがあります。その場合は、焦点距離または撮影距離を調整して撮影してください。

## 周辺光量について

- レンズは原理的に画面周辺部の光量が中心部に比べ低下します。周辺光量の低下が気になる場合は、開放絞りから1~2段絞り込んでご使用ください。

## A 各部のなまえ

- レンズフード
- レンズフード指標
- フォーカスリング
- ズームリング
- ズームレバー
- 絞りリング
- 絞り指標
- レンズマウントゴムリング
- レンズ信号接点
- マウント標準
- フォーカスホールドボタン
- フォーカスマードスイッチ
- 絞り目盛
- 絞りリングクリック切り替えスイッチ
- IRIS LOCKスイッチ

\* 直接手で触れないでください。

## B レンズの取り付けかた／取りはずしかた

## 取り付けかた(イラストB-1参照)

- レンズキャップとカメラのボディキャップをはずす。
- レンズとカメラの白の点(マウント標準)を合わせてはめ込み、レンズを軽くカメラに押しつけてながら、時計方向に「カチッ」とロックがかかるまでゆっくり回す。
  - レンズを取り付けるときは、カメラのレンズ取りはずしボタンを押さないでください。
  - レンズを斜めに差し込んでください。
- レンズフロントキャップをはずす。
  - レンズフロントキャップは図の(1)、(2)の2通りの方法で取り付けるときは、カメラのレンズ取りはずしボタンを押さないでください。
  - レンズフロントキャップは(1)、(2)の2通りの方法で取り付けるときは、(1)は、レンズフードを付けた状態でのレンズキャップの取り付け／取りはずしに便利です。

## 取りはずしかた

- レンズフロントキャップを取り付ける。
- カメラのレンズ取りはずしボタンを押したまま、レンズを反時計方向に回してはずす。(イラストB-2参照)

## C レンズフードを取り付ける

画面内にある光が描写に影響するのを防ぐために、レンズフードの使用をおすすめします。

レンズフードの赤線をレンズの赤線(レンズフード指標)に合わせてはめ込み、レンズフードの赤点とレンズの赤線が合って「カチッ」というまで時計方向に回す。

レンズフードを「カチッ」というまで回さないと、撮影画像に影がたり、フードが落したりする恐れがあります。

フラッシュ光が強ければ、写真の下部に影ができることがあります。その場合はレンズフードをはずしてください。

撮影後レンズフードを収納するときは、逆向きにレンズに取り付けてください。

## 日本語

## D ズームする

## ズームレバーでズームする

レバーを浅くスライドさせるとゆっくり、深くスライドさせると速くズームします。

## ズームリングでズームする

ズームリングを回して、希望の焦点距離(ズームの位置)に合わせます。

・動画録画中、ズームリングの作動音が気になるときはズームレバーで操作することをおすすめします。

・ズームレバーを動かすときは、ズームレバーに軽く指をかけて、レバーをはじかないように操作してください。

## E ピントを合わせる

・本製品のフォーカスマードスイッチは、一部のカメラ本体においてお使いになれます。

・カメラ本体との互換情報については専用サポートサイトでご確認ください。

AF(オートフォーカス)/MF(マニュアルフォーカス)の切り替え

AF(オートフォーカス:自動ピント合わせ)/MF(マニュアルフォーカス:手動によるピント合わせ)の設定を、レンズ側で切り替えることができます。

AFで撮影する場合は、カメラ側とレンズ側両方の設定をAFにします。カメラ側あるいはレンズ側のいずれか一方、または両方の設定がMFの場合、MFになります。

## レンズ側の設定

フォーカスマードスイッチを、AFまたはMFのいずれかで設定したいほうを合わせる(1)。

AF(オートフォーカス:自動ピント合わせ)/MF(マニュアルフォーカス:手動によるピント合わせ)の設定を、レンズ側で切り替えることができます。

AFで撮影する場合は、カメラ側とレンズ側両方の設定をAFにします。カメラ側あるいはレンズ側のいずれか一方、または両方の設定がMFの場合、MFになります。

## AF/MFコントロールボタンを装備したカメラをお使いの場合

- AF動作時にAF/MFコントロールボタンを押すと、一時的にMFへ切り替えることができます。
- MF動作時にAF/MFコントロールボタンで一時にAFへ切り替えることができる原因是、レンズの設定がAF、カメラの設定がMFの場合となります。

## AF/MFコントロールボタンを装備したカメラをお使いの場合

AF動作時にAF/MFコントロールボタンを押すと、AFまたはMFのいずれかで設定したいほうを合わせる(1)。

MF動作時にAF/MFコントロールボタンで一時にMFへ切り替えることができます。

AFで撮影する場合は、カメラ側とレンズ側両方の設定をAFにします。カメラ側あるいはレンズ側のいずれか一方、または両方の設定がMFの場合、MFになります。

## F フォーカスホールドボタンを使用する

・本製品のフォーカスホールドボタンは、一部のカメラ本体においてお使いになれます。

・カメラ本体との互換情報については専用サポートサイトでご確認ください。

AF中にフォーカスホールドボタンを押すと、AFの駆動を止めることができます。ピントが固定され、そのままのピントでシャッターを切れます。シャッターボタンを半押しした状態で、フォーカスホールドボタンを離すと停止することができます。

## G 紋りを調節する

## IRIS LOCKスイッチ

- ロック： 紋りリングを絞り目盛の「A」で固定、またはF4～F22の間で動かすことができます。
- リリース： 紋りリングを絞り目盛の「A」～F40の間で動かすことができます。

絞り目標に絞り目盛「A」を合わせると、オートアイリスモードになり、カメラ本体で明るさを調節できます。また、絞りリングを回すことで、光量をF4～F22にマニュアル調節できます。

## ご注意

動画撮影時に絞りリングを操作するときは、絞りリングクリック切り替えスイッチを「OFF」にしてください。(イラストG-a参照)

絞りリングクリック切り替えスイッチが「OFF」のときは、操作音が軽減されます。(動画撮影用)

絞りリングクリック切り替えスイッチを「ON」にしたまま動画撮影中に絞りを変更すると、操作音が記録されます。

## 主な仕様

商品名 FE PZ 16-35mm F4 G (SEL1635G)  
焦点距離(mm) 16-35

焦点距離イメージ<sup>1</sup>(mm) 24-52.5

レンズ群一枚 12-13

画角<sup>1,2</sup> 107°-63°

画角<sup>2,2</sup> 83°-44°

最短撮影距離<sup>3</sup>(m) 0.28-0.24

最大撮影倍率(倍) 0.23

最小絞り F22

フィルターリング(mm) 72

外形寸法(最大径×長さ) 80.5 × 88.1

質量(約: g) 353

手ブレ補正機能 なし

\* 撮像素子がAPS-Cサイズ相当のレンズ交換式デジタルカメラを装着した場合の換算値を表します。

\* 画角1は35mm判カメラ、画角2はAPS-Cサイズ相当の撮像素子を搭載したレンズ交換式デジタルカメラでの値を表します。

\* 最短撮影距離とは、撮像素子面から被写体までの距離を表します。

\* レンズの構造によっては、撮影距離の変化に伴って焦点距離が変更する場合があります。記載の焦点距離は撮影距離が無限遠での定義です。

同梱物((1)内の数字は個数)

レンズ(1)、レンズフロントキヤッパ(1)、

レンズリヤキヤッパ(1)、レンズフード(1)、

レンズケース(1)、印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

\* 撮影後レンズフードを収納するときは、逆向きにレンズに取り付けてください。

α および G はソニーグループ株式会社の商標です。

## English

This instruction manual explains how to use lenses. Precautions common to all lenses such as notes on use are found in the separate "Precautions before using". Be sure to read both documents before using your lens.

This lens is designed for Sony α camera system E-mount cameras. You cannot use it on A-mount cameras.

The FE PZ 16-35mm F4 G is compatible with the range of a 35mm format image sensor.

A camera equipped with a 35mm format image sensor can also be set to shoot at APS-C size. For details on how to set your camera, refer to its instruction manual.

- If the lens hood is not rotated until it clicks into place, there is a possibility that a shadow appears on captured images or the lens hood falls off.
- If the flash light is partially blocked by the lens hood, a shadow may appear at the bottom of captured images. In such a case, remove the lens hood.
- When storing, fit the lens hood onto the lens backwards.

## D Attaching the Lens Hood

It is recommended that you use a lens hood to reduce flare and ensure maximum image quality.

Align the red line on the lens hood with the red line on the lens hood index, then insert the lens hood into the lens mount and rotate it clockwise until it clicks into place and the red dot on the lens hood is aligned with the red line on the lens.

For further information on compatibility, visit the web site of Sony in your area, or consult your dealer or Sony local authorized service facility of Sony.

## For Customers in the U.S.A.

For question regarding your product or for the Sony Service Center nearest you, call 1-800-222-SONY (7669).

## Supplier's Declaration of Conformity

Trade Name : SONY

Model : SELP1635G

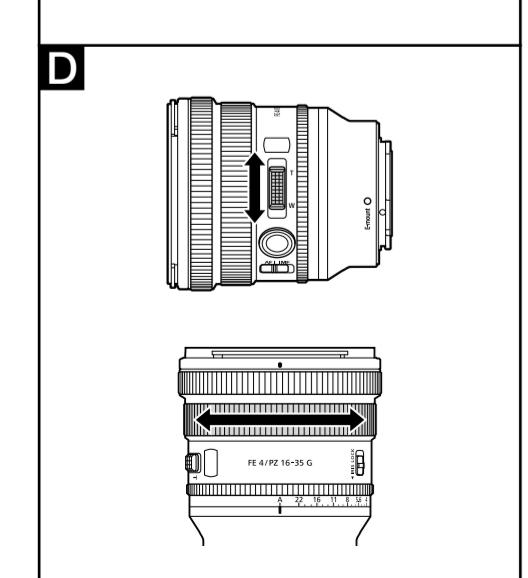
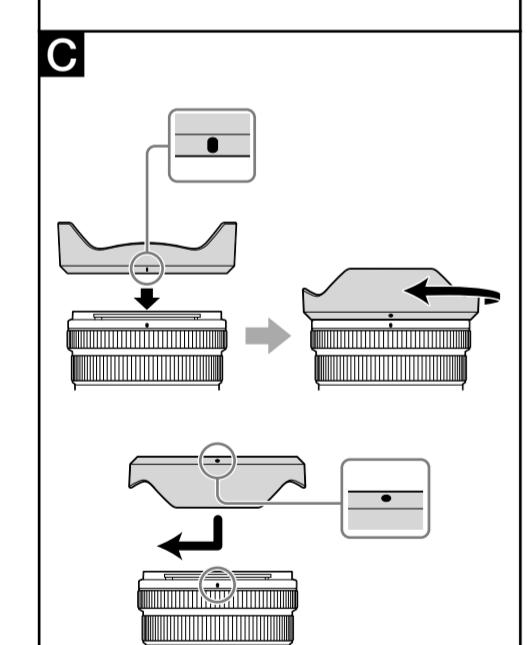
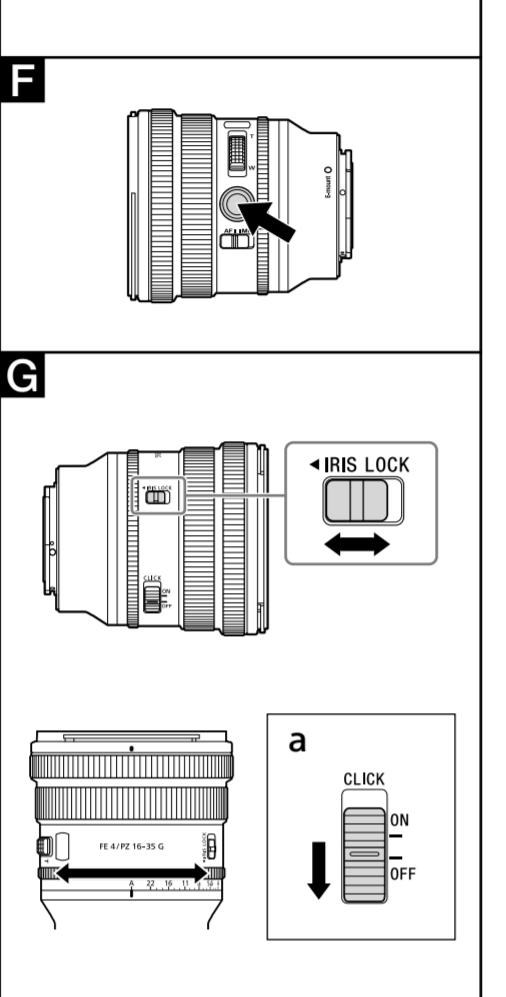
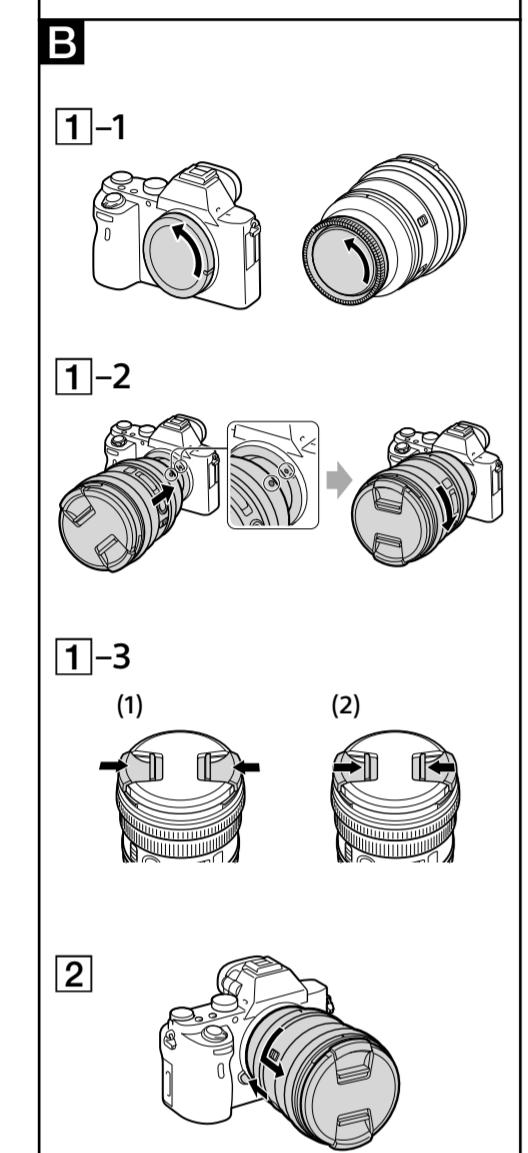
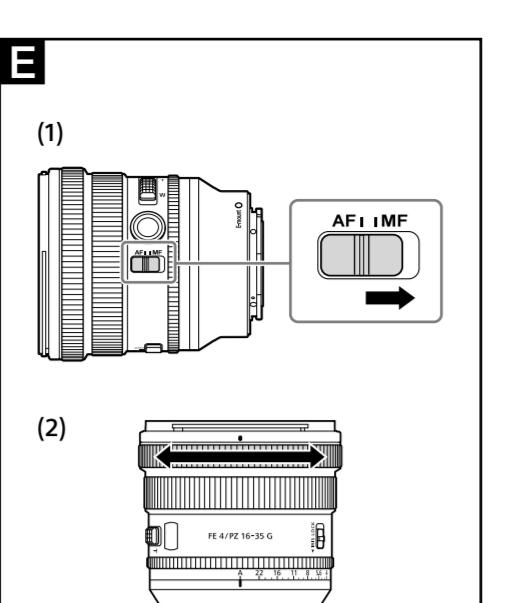
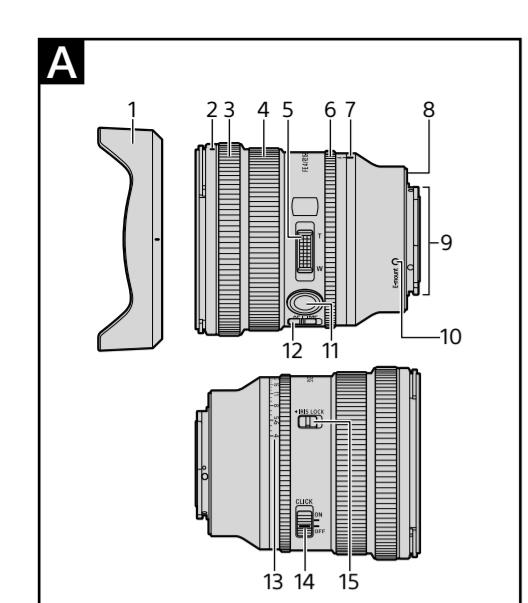
Responsible Party : Sony Electronics Inc.

Address : 16535 Via Espriello, San Diego, CA 92127 U.S.A.

Telephone Number : 858-942-2230

This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

## Notes on Use



**Français**  
(Suite de la page précédente)

**Pour utiliser un appareil photo pourvu d'une touche de commande AF/MF**

- En appuyant sur la touche de commande AF/MF en mode AF, vous pouvez provisoirement passer en mode MF.
- En appuyant sur la touche de commande AF/MF en mode MF, vous pouvez provisoirement passer en mode AF si l'appareil photo est réglé sur MF et l'objectif sur AF.

#### F Utilisation des boutons de maintien de la mise au point

- Le bouton de maintien de la mise au point de cet objectif ne fonctionne pas sur certains modèles d'appareils photo.
- Pour plus d'informations sur la compatibilité, consultez le site de Sony de votre pays, ou adressez-vous à un revendeur Sony ou à un service après-vente agréé Sony.

Appuyez sur le bouton de maintien de la mise au point en mode AF pour annuler AF. La mise au point est fixée et vous pouvez déclencher avec cette mise au point. Relâchez le bouton de maintien de la mise au point tout en appuyant sur le déclencheur à mi-course pour recommencer la mise au point automatique.

#### G Réglage de l'ouverture

##### Commutateur IRIS LOCK

- Blocage :** vous pouvez bloquer la bague d'ouverture sur « A » sur l'échelle d'ouverture, ou la tourner de f/4 à f/22.
- Déblocage :** vous pouvez tourner la bague d'ouverture de « A » à f/4 sur l'échelle d'ouverture.

Lorsque vous alignez « A » de l'échelle d'ouverture sur le repère d'ouverture, l'appareil photo est réglé en mode iris automatique et l'exposition est réglée par l'appareil photo. Vous pouvez régler la quantité de lumière manuellement entre f/4 et f/22 en tournant la bague d'ouverture.

**Remarques**  
Réglez le commutateur d'encliquetage de l'ouverture sur « OFF » lors de l'enregistrement de vidéos. (Voir l'illustration G-a.)  
Lorsque le commutateur d'encliquetage de l'ouverture est réglé sur « OFF », le bruit émis par la bague d'ouverture est réduit. (Pour l'enregistrement de vidéos)

Si vous changez la valeur d'ouverture pendant l'enregistrement d'une vidéo avec le commutateur d'encliquetage de l'ouverture réglé sur « ON », le bruit émis par la bague d'ouverture sera enregistré.

#### Spécifications

Nom de produit	FE PZ 16-35mm F4 G (Nom de modèle)
Longueur focale (mm)	16-35
Longueur focale équivalente à 35mm*1 (mm)	24-52,5
Éléments-groupes de lentilles	12-13
Angle de champ 1*2	107°-63°
Angle de champ 2*2	83°-44°
Mise au point minimale*3 (m (pieds))	0,28-0,24 (0,92-0,79)
Grossissement maximal (X)	0,23
Ouverture minimale	f/22
Diamètre d'objectif (mm)	72
Dimensions (diamètre maximal x hauteur) (environ, mm (po.))	80,5 × 88,1 (3 1/4 × 3 1/2)
Poids (environ, g (oz))	353 (12,5)
SteadyShot	Non

\*1 Longueur focale équivalente en format 35mm lorsque installé sur un appareil photo à objectif interchangeable avec capteur d'image de taille APS-C.

\*2 L'angle de vue 1 est la valeur correspondant aux appareils photo 35mm et l'angle de vue 2 est la valeur correspondant aux appareils photo à objectif interchangeable équipés d'un capteur d'image APS-C.

\*3 La mise au point minimale est la distance du capteur d'image au sujet.

\*Selon le mécanisme de l'objectif, la focale peut changer lorsque la distance de prise de vue change. Les focales indiquées ci-dessus presupposent que l'objectif est réglé sur l'infini.

Articles inclus  
(Le chiffre entre parenthèses indique le nombre d'unités.)

Objectif (1), Capuchon d'objectif avant (1), Capuchon d'objectif arrière (1), Pare-soleil (1), Etui pour objectif (1), Jeu de documents imprimés

La conception et les spécifications peuvent être modifiées sans préavis.

**α** et **g** sont des marques commerciales de Sony Group Corporation.

**Español**  
(Suite de la page précédente)

**Colocación del parasol de objetivo**

En este manual se explica cómo utilizar objetivos. Las precauciones comunes a todos los objetivos, como notas sobre la utilización, se encuentran en las "Precauciones previas a la utilización del producto" suministradas por separado. Cercírese de leer ambos documentos antes de utilizar su objetivo.

Este objetivo está diseñado para cámaras con montura E del sistema de cámaras α de Sony. No podrá utilizarse con cámaras con montura A.

El FE PZ 16-35mm F4 G es compatible con la gama de un sensor de imágenes de formato de 35mm. Una cámara equipada con un sensor de imágenes de formato de 35mm puede establecerse para fotografiar con tamaño APS-C.

Con respecto a los detalles sobre cómo configurar su cámara, consulte su manual de instrucciones.

Para más información sobre compatibilidad, visite el sitio Web de Sony de su área, o consulte a su proveedor Sony o a un centro de servicio local autorizado por Sony.

#### F Utilización de los botones de mantener-ensfoque

• El botón de mantener de la mise au point de cet objectif no fonctionne pas sur certains modèles d'appareils photo.

Pour plus d'informations sur la compatibilité, consultez le site de Sony de votre pays, ou adressez-vous à un revendeur Sony ou à un service après-vente agréé Sony.

Appuyez sur le bouton de mantenimiento de la exposición en modo AF para cancelar AF. La exposición es fija y puede disparar con esta exposición. Suelte el botón de mantenimiento de la exposición mientras pulsa hasta la mitad el botón del obturador para iniciar de nuevo AF.

• Cuando guarda la cámara, fije el parasol de objetivo al revés.

#### G Notas sobre la utilización

• No deje el objetivo expuesto al sol o a fuertes de luz intensas. Es posible que se produzcan fallos de funcionamiento interno del cuerpo de la cámara y del objetivo, humo, o un incendio como efecto de la luz directa. Si las circunstancias exigen dejar el objetivo expuesto a la luz solar, asegúrese de colocar las tapas del objetivo. Cuando fotografie contra el sol, mantenga el sol completamente fuera del ángulo de visión.

• Este objetivo no es impermeable, aunque se ha diseñado teniendo en cuenta la resistencia al polvo y a las salpicaduras. Si se utiliza bajo la lluvia, etc., mantenga las gotas de agua alejadas del objetivo.

• Si se agita el objetivo solo o si se agita una cámara con el objetivo instalado mientras la cámara esté apagada, un componente interno del objetivo puede traquetear. Esto, sin embargo, no indica un mal funcionamiento.

Además, mientras transporte el objetivo, su movimiento puede hacer que los grupos del objetivo internos se muevan. Esto, sin embargo, no afectará el rendimiento de los grupos del objetivo.

• Cuando transporte una cámara con el objetivo fijo, sujetela siempre firmemente tanto la cámara como el objetivo.

• El interruptor de modo de enfoque de este objetivo no funcionará con ciertos modelos de cámaras. Para más información sobre compatibilidad, visite el sitio Web de Sony de su área, o consulte a su proveedor Sony o a un centro de servicio local autorizado por Sony.

#### H Precauciones sobre la utilización de un flash

• Con ciertas combinaciones de objetivo y flash, el objetivo puede bloquear parcialmente la luz del flash, lo que resultará en una sombra en la parte inferior de la fotografía. En tal caso, ajuste la distancia focal o la distancia de toma de imagen antes de fotografiar.

#### I Vídeo

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

#### J Ajuste de la apertura

##### Interruptor IRIS LOCK

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.

• Si utiliza el objetivo, las esquinas de la pantalla se vuelven más oscuras que el centro. Para reducir este fenómeno (llamado vífeateo), cierre la apertura de 1 a 2 puntos.</